

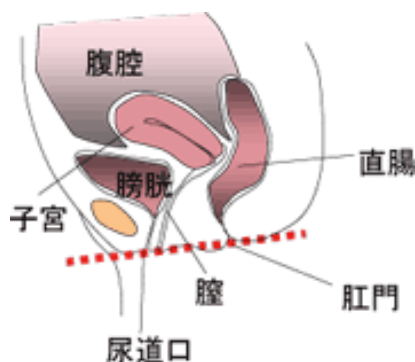


秋が深まり、様々な花が見頃を迎える季節となりました。地域の先生方にはますますご清栄のことと存じます。日頃より患者様のご紹介・逆紹介において大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

診療科紹介 「婦人科」



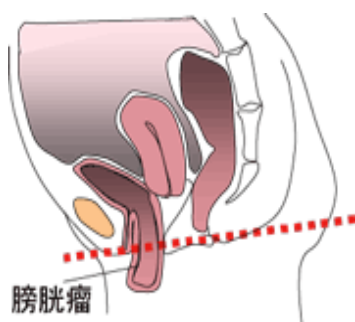
<正常な骨盤腔>



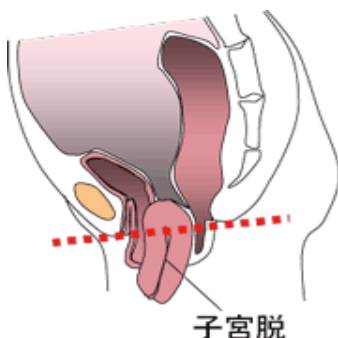
当院婦人科の診療の中心となっている骨盤臓器脱について、ご紹介させていただきます。

骨盤臓器脱とは、本来骨盤の中にある膀胱、子宮、直腸などの臓器が腔から脱出してくるもので、それぞれ、膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤と言います。

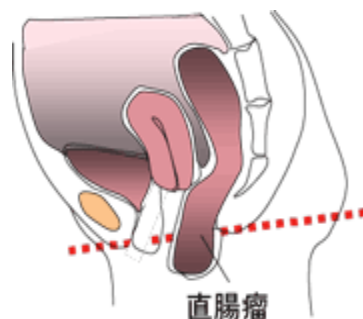
<膀胱瘤>



<子宮脱>



<直腸瘤>



骨盤腔の底は骨盤底筋群によって覆われていますが、妊娠・出産、肥満、加齢などによりそれらが損傷したり、緩んだりすることが原因となります。経膣分娩を経験した女性の3～4割程度に骨盤臓器脱がみられると言われており、脱出による違和感や、排尿障害（尿漏れ、残尿、頻尿など）、排便障害、性器出血などの症状を認めることが多いです。腔から何か下がっている感じがするけど、なかなか周囲の人には相談しにくい、受診しにくい、と感じられる女性も多く、当院婦人科では女性骨盤底外来を開設し、このような悩みを抱える方の診療を積極的に行ってまいりました。



治療法は、主に保存療法と手術療法に分けられます。それぞれ長所・短所があり、患者様とご相談の上、ご希望に添い、最も適した方法を検討させていただきます。何かお困りの症状がありましたら、ぜひご紹介頂ければと存じます。

今後とも、引き続きよろしくお願い申し上げます。

保存療法

骨盤底筋体操

弱くなった骨盤底筋の収縮力を高める体操です。骨盤臓器脱の症状を改善したり、悪化を防いだりする効果があります。

ペッサリー療法

膣の中に下記のようなペッサリーを挿入して、膀胱や子宮が下がってくるのを押さえます。ペッサリーには様々な形のものがあり、それぞれ適しているものを使用します。

当院ではリングペッサリーは原則として、自己着脱法を行っており、毎日ご自身で挿入と抜去・洗浄をして頂いております。

<リングペッサリー>



<キューブペッサリー>



手術療法

メッシュ手術

経腔的な手術操作により、骨盤底の弱った部分にメッシュ状のシートを挿入して、骨盤底の支持組織を補強します。前方は膣壁と膀胱の間に、後方は膣壁と直腸の間にメッシュを挿入します。

膣式子宮全摘術 膣壁形成術

経腔的な手術操作により、子宮を摘出し、弛緩した膣壁の余分な部分を切除し、膣を細く縫い縮め、膀胱や直腸の脱出を修復する方法です。

【お問い合わせ先】

住 所：〒702-8055 岡山市南区築港緑町1丁目10番25号
T E L：（代表）086-262-0131 FAX：086-263-2587
E-mail：kansapo@okayamah.johas.go.jp
担 当：岡山労災病院 地域連携室

